

校門坂

～ 輝く薩摩中央 ～

平成30年 8月24日 (金) 毎日新聞

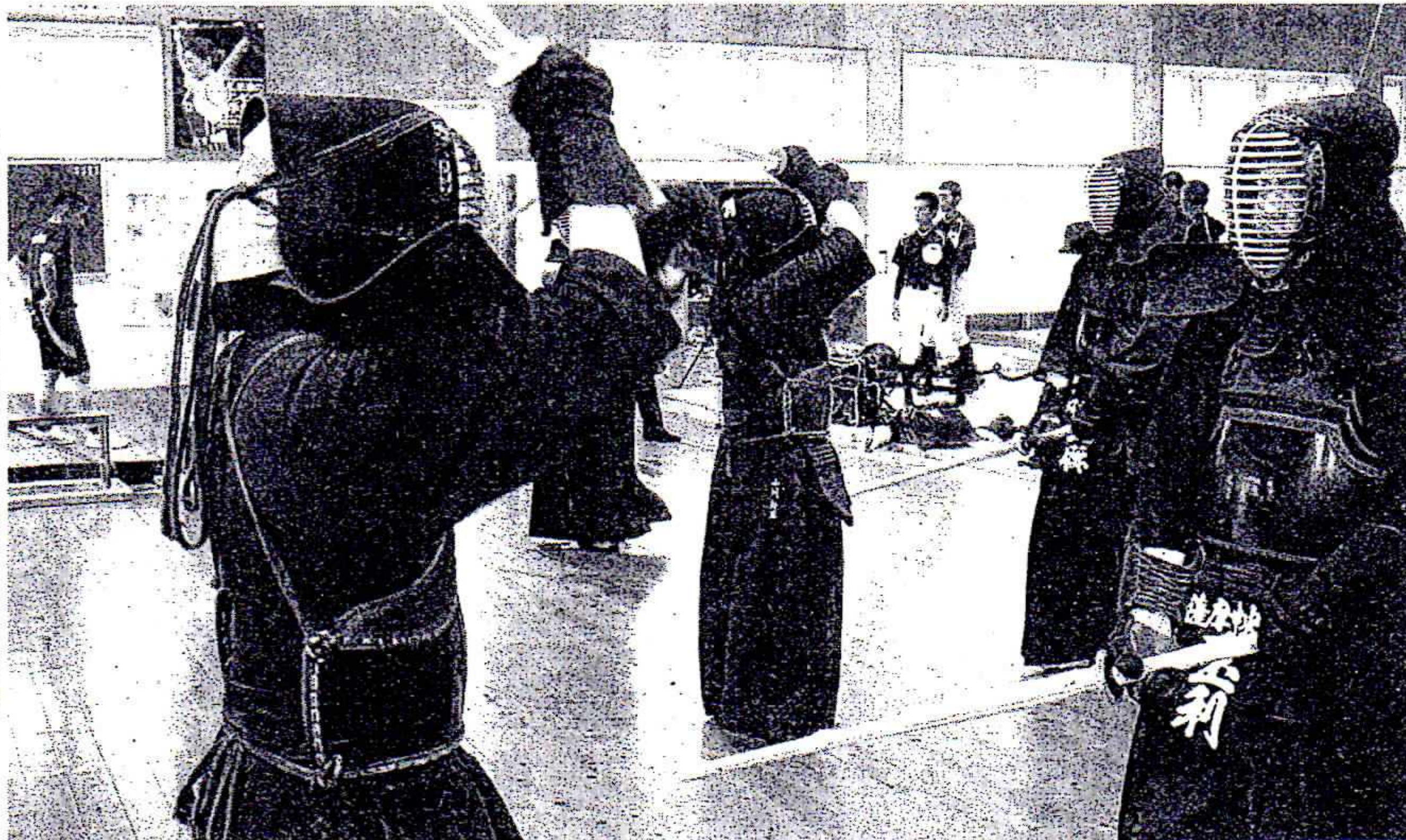
毎日新聞に本校剣道部の活動について掲載されたので紹介します。

部員不足乗り越え躍進期す

鹿児島・薩摩中央高剣道部

来月の北薩新人戦 優勝目指し練習

3月まで部員が2人だった鹿児島県さつま町の県立薩摩中央高剣道部に今春、1年生5人が入部した。団体戦出場が可能になり、6月の高校総体団体戦県予選は男子が初戦を突破。9月の北薩地区(県北部)の新人戦に向け練習を重ねている。【降旗英峰】



部員が増え、練習に熱が入る薩摩中央高剣道部

同高は2005年開校。剣道部は3年生が引退した昨夏、現2年の平松裕也選手と緋田

有花選手の男女2人だけに。素振り、切り返しと基本練習を続けたがどうしても単調にな

りがちで、平松さんは退部を考えたと言う。そんなころ、顧問の船迫歩教諭(47)に勧められて本土最南端の佐多岬まで110キロを力ヌーと徒歩で縦断する企画に挑み「やり遂げる達成感を味わった」平松選手は部活続行を決めた。

そして今春、1年生5人(男子2人、女子3人)が入部。このうち、武田夢佳選手は中学時代、中体連で全国ベスト8入りした実績がある。剣道は中学までとも考えていたが、2人の先輩を見て「少人数できついのに普通にやってみる。すごい」と感じ、入部を決めた。団体戦は男女別に1チーム5人で争うが、県内の高校大会は3人そろえば出場が認められる。6月の高校総体県予選は女子は初戦敗退だったが、男子は2

回戦に進出。個人戦では平松選手が3回戦、緋田選手は2回戦に勝ち進んだ。

主将となった平松選手は「部員2人だと熱気がなかったが、3倍を超えて盛り上がった。普通の2年生より1年早く大将を経験でき、ちょっと強くなったかなと思う」と秋以降の躍進を期す。副主将の緋田選手は「明るくテンションが上がることはないチーム。北薩大会で優勝したい」と意気込んでいる。